

令和4年度「北九州港セミナーin 東京」の開催について

北九州市・北九州港航路集貨対策委員会は、東京の経団連会館にて、「令和4年度 北九州港セミナーin 東京」を開催しました。本セミナーは、在京の荷主や船社、物流事業者等を対象に、官民一体となって北九州港のPRと利用促進を図るため、昭和63年より開催しており、新型コロナウイルス感染拡大による中止を経て、今回は3年ぶり32回目の開催となりました。

第1部では、北橋市長から「あたらしいことをはじめやすい都市。福岡県北九州市。」と題して、北九州市のトピックスについて紹介した後、佐溝港湾空港局長から北九州港と北九州空港の新たな取組みについてプレゼンテーションを行いました。

次に北九州港をご利用いただいているオリエントオーバーシーズコンテナラインリミテッド日本支社、株式会社日立物流/株式会社日立物流九州に登壇していただき、北九州港を活用した新たな取組みについてご講演をいただきました。

また、第2部の名刺交換会は、初めてブース形式とし、地元企業に出展していただき、多数の参加者が情報交換等を行い、盛況のうちに閉会することができました。

これからも、北九州港をより多くの方に知っていただき、更なる利用促進に繋げてまいります。

【主催】 北九州市、北九州港航路集貨対策委員会

【共催】 北九州港振興協会、関門港運協会、小倉地区港運協会、洞海港運協会、八幡港友会、北九州商工会議所、北九州空港国際航空貨物推進協議会

【日時】 令和4年10月25日（火）15時から17時30分

【会場】 経団連会館（東京都千代田区大手町1丁目3-2）

【参加者】 139団体・約320名

※セミナーの様子



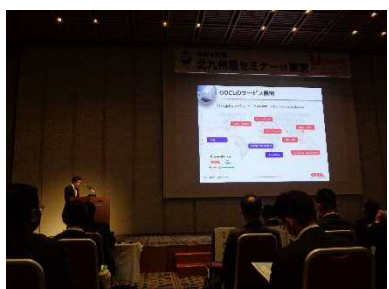
①北橋市長プレゼン



②佐溝局長プレゼン



③セミナーの様子



④ OOCL プレゼン



⑤ ㈱日立物流/㈱日立物流九州プレゼン



⑥ 名刺交換会の様子